

事務事業名		農業集落排水施設管理事業		所属部	上下水道部	所属課	下水道課
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	整備維持グループ	課長名	菅田雅人
	施策名	(16)下水道の整備		担当者名	山本大策	電話番号	0854-42-3471
	目的:対象	市民	意図	衛生的な生活環境の中で暮らす。		(内線)	4611
	基本事業名	(046)下水道施設の維持管理		予算科目	会計 251501	大事業名	農業集落排水施設管理事業
目的:対象	下水道接続済の市民	意図	下水道に排水できるように維持管理する。		項目	中事業名	農業施設管理事業
					1005	中事業名	農業コンポスト施設管理事業

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
・維持管理業務委託 ・処理施設の電気料、水道料、電話料、保険料等の支払い ・処理施設の故障対応及び修繕等

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	28年度実績(28年度に行った主な活動)	29年度計画(29年度に計画する主な活動)			
	・施設等の維持管理 農業集落排水処理施設 22箇所 (加茂町 5箇所、木次町 5箇所、三刀屋町 7箇所、吉田町 1箇所、掛合町 4箇所) 中継ポンプ 184箇所	・同左				
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
ア	処理区数	箇所	22	22	22	22
イ						
ウ						
エ						

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	① 農集処理施設 ② 農集利用者 ③ 汚水排水	ア 処理区域内人口	人	11,139	10,878	10,666	10,666
		イ					
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	① 適正に維持管理する ② 生活環境を改善する ③ 汚水を浄化する	ア 汚水BOD除去率	%	97.2	96.9	96.6	98.0
		イ					
		ウ					

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)		② コストの推移		単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
加茂町地区	41,175千円	事業費	国庫支出金	千円				
木次町地区	27,346千円		県支出金	千円				
三刀屋町地区	63,433千円		地方債	千円				
吉田町地区	6,133千円		その他	千円	166,322	164,260	171,528	167,042
掛合町地区	33,432千円		一般財源	千円				
コンポスト	9千円	事業費計(A)	千円	166,322	164,260	171,528	167,042	
計	171,528千円	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	3	
			延べ業務時間	時間	780	780	880	
		人件費	人件費計(B)	千円	3,033	3,053	3,491	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	169,355	167,313	175,019		

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・農業集落排水施設の老朽化に伴い、平成27年度8地区について機能強化対策計画を作成した。	・機能強化対策計画に基づいた施設の改築・更新工事を実施し、ライフサイクルコスト縮減に努めていく。	・適切な維持管理。

事務事業名	農業集落排水施設管理事業	所属部	上下水道部	所属課	下水道課
-------	--------------	-----	-------	-----	------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	現時点で放流水質基準を満たしているため。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	維持管理は、継続的に実施しなければならないので、廃止・休止はできない。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		現在、類似事業はなく、統廃合及び連携はできない。(長期的な構想による公共下水道、農業集落排水処理施設等の連携・統合の検討が必要である)
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		機能強化対策事業など交付金を活用した事業に取り組む。
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		施設の管理は、既に委託形式をとっており人件費の削減余地はない。現在でも最低限の人員及び業務時間で業務を行っている。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		水道の使用量により、下水道使用料を賦課しているため公平である。また平成20年度から下水道使用料を一本化した。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		・面整備については完了したが、経年による機械設備の劣化が課題となっている。そのため平成27年度作成した機能強化対策計画に基づき改築・更新工事を実施していく。
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																				
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下		×	×
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
成果	向上																					
	維持	●	×																			
低下		×	×																			
	<p>・適切な維持管理とライフサイクルコスト縮減の観点から、事後保全型より予防保全型へのシフトが必要となっている。</p> <p>・農集の使用について引き続き使用者にPRLしていくことが必要である。</p> <p>・今後、汚水処理施設整備構想の中で公共下水道、農業集落排水処理施設の連携・統合について検討していく。</p> <p>・分担金については、下水道審議会等において検討する必要がある。</p>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			